



A Newsletter of the Tokyo Branch of the Royal Scottish Country Dance Society

Editor: Shigeko Igarashi, 5-12-35-207, Kitamachi, Warabi-shi, 335-0001 Tel/Fax 048-445-1527

### Weekend School 2007 盛会のうち終了

20周年記念行事に来日されたアン・ディックス氏が再来日。ティーチャーズ・スキルコースとウィークエンド・クラスが例年の通り石川島研修センター（神奈川県綾瀬市）で開催された。

今年初の試みとして埼玉、東海の両ブランチにも呼びかけたところ、7名の方々が参加し、交流を深めることができたのは嬉しいことだと思います。

講師のアン・ディックス氏は、明瞭、簡潔わかりやすい指導でその熱意は参加者のやる気を引き出し時々笑いを交えながらの楽しいクラスとなりました。

指導スタッフは次の通り

2月16日（金）～17日（土）ティーチャーズ・スキルコース

指導者：アン・ディックス

ピアニスト：小海 弘子

参加数：52名

2月17日（土）～18日（日）ウィークエンド・クラス

指導者：アン・ディックス、小幡 正明

ピアニスト：小海 弘子、市川 洋子、村上 美枝子

参加数：118名

### Weekend 2007 講習曲一覧

2月17日（土）

	Ann Dix		小幡正明	
	(A)・・・クラス		(B)・・・クラス	
	Alastair's Jig	J32	Trip to Gatlinburg	J32
13:30-	Balmoral Strathspey	S32	The Punch Bowl	R32
15:00	The First of September	R32	The Infare	S16
	The Doo'cot	S32		
	(B)		(A)	
	Alastair's Jig	J32	The Dusty Miller	J32
15:30-	The Gordonian Strathspey	S32	Hoop Her and Gird Her	R32

17:15	Lady Dumfries	R32	The Thistle's Fancy	R40
			Today's Hot Fish	S32
2月18日(日)				
	(A)		(B)	
9:30-	Cramond Bridge	R32	Come Ashore, Jolly Tar	R32
10:30	The Enchanted Garden	S32	The Fyket	J40
	(B)		(A)	
11:00-	Cramond Bridge	R32	Kinnessburn Reel	R32
12:00	The Enchanted Garden	S32	Chippy's Rant	J32
	(A,B 合同)			
	Little Leigh	R32		
13:00-	The Music Will Tell You	R32		
15:00	Crossing the Bay	S32		
	The Express	J32		
	Bedrule	S32		

### アンケート 集計結果

		回収枚数	90枚		
<b>Weekend Class</b>					
1	Class について	よかった 72	普通 16	よくない	
2	Teaching について	よかった 78	普通 11	よくない	1
3	Music について	よかった 77	普通 12	よくない	
4	スケジュールの時間配分について	よかった 70	普通 17	よくない	1
5	Evening Social Dancing について	よかった 65	普通 21	よくない	1
6	Evening Social Dancing の Music について	よかった 78	普通 9	よくない	
7	宿泊施設について	よかった 70	普通 16	よくない	
8	Weekend Class の開催時期について	よかった 73	普通 15	よくない	1
9	Weekend Class の開催場所について	よかった 61	普通 25	よくない	2
10	参加者はフレンドリーでしたか	よかった 68	普通 20	よくない	
11	総体的な感想	よかった 71	普通 15	よくない	

### アンケート 意見・希望など

- Weekend Class**
- 1 Class について
    - ・ クラスの分け方の意味が解りづらかった
    - ・ 資料をもらえたのはよかった、これからも希望する
    - ・ 参加者のマナーが悪い、マナーも教えるべき
  - 2 Teaching について

- ・ Ann の指導はわかりやすく素晴らしかった
- ・ 指導が丁寧で、指導者の熱意が伝わった
- 3 スケジュールの時間配分について
  - ・ 朝のスタートがゆったりしていて全体的にゆとりがあって良い
  - ・ 最終日のチェックアウトからクラスまでの時間が長い
  - ・ 早く始めて終わりを早くしたほうが良い
- 4 Social Dancing について
  - ・ 交流会的要素が強いので時間を倍くらいにしてたくさんの人と踊れたらいいと思う
  - ・ 休憩のときのフルーツはとてもありがたかった
  - ・ MC に工夫が必要、盛り上げが少なかった
- 5 宿泊施設について
  - ・ 鍵の管理が大変だった
  - ・ 床が踊りにくいので足が痛かった

その他

- ・ オークションだけでなく、資料や CD, ビデオなども販売して欲しい
- ・ 役員はもっとクラスやパーティーに参加して欲しい
- ・ 初めて参加でも楽しめた、とても勉強になった
- ・ 役員への感謝、ご苦労様でした

以下は Teacher's Skill Course に参加の方のみ

	回収枚数	28 枚				
1 Teacher's Course の研修テーマについて	よかった	24	普通	2	よくない	
2 Teacher's Course の進め方について	よかった	24	普通	2	よくない	
3 Class 内容の理解	よくわかった	25	わかった	2	まあまあ	1
4 Music について	よかった	26	普通	1	よくない	

Skill Course 研修テーマについて

- ・ オブザベーションが大切なことがよくわかったが、フォルツをどう直すかを教えて欲しかった
- ・ 実践と知識の両方に有意義なクラスだった

進め方について

- ・ プログレッシブな進め方がとても良かった
- ・ Ann はとても良い指導者だと思う

アンケートに多数の方が回答下さりありがとうございました。  
次回に改善し、より良い Weekend school にしたいと思います。

## チェアマン就任にあたって

アイリーン・ベネット

昨年 11 月の年次総会で、ソサエティはチェアマンにアイリーン・ベネットを選出した。ロンドン・ブランチ機関紙 The Reel に寄せたアイリーンのことばである。

ずっとむかし、わが家にはスコティッシュ音楽が流れていた。祖父はアコーディオンを演奏し、母はフィドルを弾き、合唱隊で歌っていた。週末は家族みんなでラジオのダンス音楽を聞いていた。父はジミー・シャンドの友だちで、同年輩の 2 人はオートバイに熱を入れていた。1930 年代から 50 年代にかけて祖父母はファイフで公民館の管理人をつとめ、そこではジミー・シャンドをはじめ多くの有名バンドが演奏していた。わたしは舞台裏に座るのを許され、一部始終を見ることができた。ジミー・シャンドが「お嬢ちゃん、大きくなったらみんなと踊ろうね」といつてくれたことを思い出す。未来を予言してくれたのではないかと思っている。

スコティッシュ・カントリー・ダンシングをはじめたのは小学校のときで、ガール・ガイドでもダンシングを続けた。1950 年代、町の青年会は、セント・アンドルーズ城で年 1 回行なわれるフェスティバルに参加していた。ロクスバラ城のデモがわたしにとって初めてのデモだった。ティーチャー・トレーニングはエジンバラの大学時代で、講師はミス・ナンシー・アーノットだった。1964 年に予備試験に合格し、そのときのエグザミナーはミス・ミリガンだった。かの女が、みなどこに住んでいるかを訊いたのをよく覚えている。わたしが「セント・アンドルーズです」というと、「なんとまあ、わたしの聖地じゃないの!」。かの女との最初の出会いがたいそう印象に残っている。ティーチャー資格をとったのは 1966 年のサマースクールだった。

1964 年、セント・アンドルーズ・ブランチの会員になり、すぐにブランチ活動を手伝うことになった。運営委員に続いて短期間セクレタリをやり、そのあと 15 年間トレンジャラをつとめた。1994-97 年と 2004-06 年の 2 回、チェアマンになり、本部とのかかわりは旧執行評議会のブランチ代表、サマースクール委員会、総務委員会、研究・出版委員会だった。もっとも関心があったのは研究・出版委員会で、委員長もつとめた。

ブランチ委員をつとめていたときもダンシング、デモ、ティーチングを続けていた。小学校の先生をやっていたときからずっと、こどもたちをダンシングに引き入れるようにしている。またこどもの両親を含めその家族全員が参加するように仕向け、ファミリー・イベントが数箇所で開催されるようになった。中学校のクリスマス・ダンス会ではわたしが教えた小学校卒業生がたくさんいた。ソーシャル・ダンシングと同様に、わたしはダンブレーション、ハイドロ・ホテルのチームの 1 人となり、ジム・マクラウドの音楽で踊った。みなさんがソサエティ 50 周年の LP をお持ちなら、ジャケット写真にわたしがいるのがわかるかもしれない。

英国、ヨーロッパ各地のデイ、ウィークエンドスクールで指導し、ダンカン・マクラウド（ミリガン死去後の校長）に招かれてサマースクールで教えはじめた。セント・アンドルーズに住んでいるのはとてもラッキーで、たくさん友人、知人をつくることができた。サマースクール中、セント・アンドルーズ・ブランチは 35 年にわたって毎週ソーシャル・ダンス会を行っており、世界各地からのダンサー仲間を大歓迎している。

わたしはチェアマンという立場の名誉と責任を自覚しているし、目前の課題を理解している。やるべきことをベストをつくしてやろうと思っている。(‘Irene Bennett- Society Chairman’ by Irene Bennett, from The Reel No. 258, Dec 2006 - Mar 2007. By the courtesy of the RSCDS London)

## ロンドンで大乱舞

アンジェラ・ヤング

ことし(2006年)、ロンドンは2012年のオリンピック周知をめぐってダンス・イベント開催を決定した。とおりいっぺんのダンス行事ではなく、場所はトラファルガー広場、テレビ放映のためできるだけ多くのダンス・スタイルとダンサーを集め、同時に世界記録を更新しようというものだった。

5月、ロンドン・ランチに参加要請があり、イベントの最初にSCDを2分間やってほしいということだった。わたしはイベントのダンス編成担当、ジェニファーと打ち合わせた。

45種のダンスをつぎつぎに紹介したあと、参加者全員が同時に同じ音楽で、各スタイルで踊り、記録を破ろうという考えである。音楽は昨年ジュニア・シニア〔デンマーク出身の男2人のユニット。日本でCD入手可〕がヒットさせた曲だが、ストラスペイでもなくリズムミクナバ・デ・バスクでもなかった。けれども、スロバキア人やトルコ人が踊れるなら、われわれだって踊れると思った。

リハーサルは〔ロンドン東の〕ドックランズ地区で行なわれた。ロンドン西の住人にとっては、はじめての倉庫街冒険ツアーである。真剣なトレーニングがはじまった。記録更新を考えて、すべてのフォークダンス・グループがリバー・ダンスの音楽で30秒間踊らされた。スペイン、スロバキア、トルコ、アイルランド、ハイランドのダンサーたちが全員生徒として教えられた。ダンス・スタイルの違いを示すため、われわれは最後にフロアに進み、他の人たちと一緒に踊った。

その日〔7月21日(金)〕がやってきた。かんかん照りの真夏日だった。トラファルガー広場での総リハーサルに先立ち、エンバンクメント・ガーデンズ〔ロンドン南西〕でわがグループの最終チェックと練習をさっに行なった。金曜日の午後、勤め人と観光客に格好の見せものを提供したようだ。

トラファルガー広場に行き、800人のダンサーに合流した。各グループの練習が成果となってあらわれた。ロンドン子と観光客数千人が見物するなか、われわれは気を緩めることができず、ほっとしたのはすべてが終わってからだった。

わがグループのテレビ撮りは翌日土曜の9 p.m. 開始だった。が、8.45 p.m. に激しい雨が降り出してきた。ポンチョで着物は濡らさなかったが、靴にいたってはどうしようもない。

ブルース・フォーサイスとゾイ・ボールが傘の元でプログラムを紹介し、雨はだんだんと小降りになってきた。だがフロア・アシスタントが懸命に水をかき出しても、ダンス・フロアには5センチの水が残っている。ブルースとゾイが出演者に予定どおりやると告げ、われわれはフロアに立った。

ヒップ・ホップとバングラ [インド音楽とディスコ・ダンスを組み合わせた踊り] は踏み段、片側ではフラメンコのクラップとケルトのいそがしいリール、そしてシンクロナイズド・スイミングがあり、われわれは雨よけの青いスカーフを男性のスポランに突っ込みながらロングワイズ・セットを作った。

ジュニア・シニアの曲で Jennifer' s Jig, Byron Strathspey, John of Bon Accord を踊った。ちょっとすべったり、倒れそうになるだけだった。8分30秒を踊り、同時に同じ音楽で何種類の踊りを踊るかという記録を更新した。わたしたちはその1役を担ったのだ。

ダンサー、リハーサルと当日のサポート・チームに感謝している。Jennifer' s Jigを忘れることはないだろう。( 'The Big Dance' by Angela Young, from The Reel No. 258, Dec 2006 - Mar 2007. By the courtesy of the RSCDS London)

## 運営委員会報告

11月4日 第7回運営委員会

- (1) 第1回 Social Dance Class について  
アンケート結果をもとに Social Dancing にするか Class にするか、次回再検討する。
- (2) ケーブルTV社の取材について  
11月6日の Intermediate Class でディレクターと打ち合わせ  
12月の Intermediate Class でロケ実施はどうか。
- (3) 2008年 Weekend Class について  
日程の検討、2月15-17日 または9-11日  
クラス内容
- (4) New Year Dance 2007  
2007年1月7日(日)  
当日の担当者決定  
Musician、MC、受付、プログラム、会計等
- (5) Weekend Class 2007  
案内書、定員、費用、クラス分け、スケジュール、  
日本人講師、Musician、Social Dance Programme 担当者
- (6) World Day of Dance  
会場および内容の検討

12月2日 第8回運営委員会

- (1) Social Dance Class について  
Social Dance Class として2回目を行う。  
参加者のレベルに合わせる必要があるため、2月のクラス案内にアドバンス以上と但し書きを載せる。

- (2) Weekend Class 2007(2007.2.16-18)
  - 日本人講師 小幡正明
  - Evening Social Dancing (Teacher's Class および Weekend Class) の Program、MC、その他役割分担
  - アンケートの内容、スケジュールの検討
- (3) 2008 年春 International Workshop
  - クレメント篤子さんよりの提案 次回委員会で検討
- (4) マガジン No.3 の和訳
  - 4名の協力者決定。レターNo.74で今後の和訳協力者を募る。
- (5) Weekend Class 2008
  - 2007年を参考にして MacOwen ご夫妻に問合せる。

- (6) New Year Dance 2007
  - 青山るりリコーダー・クラリネット奏者が Musician として参加

2007年1月6日 第9回運営委員会

- (1) New Year Dance 2007 の確認
  - 集合時間、役割分担、会費、経費について
- (2) Weekend Class 2007(2007.2.16-18)
  - 参加者 Weekend 125名 (Advance 97名 Intermediate22名)
  - Skill Course42名
  - 部屋割り、クラス分け、集合時間等の検討
- (3) 2008 Weekend Class 開催時期
  - 2月22日ー24日
- (4) 篤子さんからの提案について
  - 2008年は行事、予算の関係で難しい。2009年10-11月頃を考慮してもらえないか、再考を依頼
- (5) ティーチャー連絡会事務局発足について
  - 3ブランチの結束、日本のスコティッシュ会のレベルアップを目的とする。
  - 3ブランチでティーチャーのレベルの維持ができるなら賛成。
  - 先ずブランチとしての地固めをしてから。協力はしたいが、具体的な行動はまだ取れない。
- (6) Weekend Social Dancing Programe
  - 7-8曲は Ann に MC を頼む。
- (7) ブランチ賞
  - 今回は見送る。
- (8) Part 1 受験 2月はなし、5月3名予定
- (9) World Day of Dance
  - 会場が確保できたら検討する。

(10) ブランチクラスについて

Intermediate 土曜クラスの赤字をどうするか。  
今後ステップダンスクラスは単発で講習会を行う。  
カントリーダンスは3・4月中田担当で終了。  
Social Dance Class は4月第3土曜日夜に行う。

## New Year Dance 2007 報告

2007年1月7日、東京都北区の赤羽会館で行われました。(参加者113名)  
今回は、クラリネット奏者の青山るりさんが参加されピアニストの小海弘子さん、バイオリンの村上由美子さんと素晴らしい音楽で、十分に楽しみました。

## 2nd Social Dance Class 報告

2007年1月27日、第2回を上原区民館4Fで行われた。指導者は、中田多鶴子さん。  
流れるような発音と指導、そしてピアニストは小海弘子さんで色々な音色でダンサーを楽しませ全員満足して帰路についた。会場が前回と違った為に17名の参加者でしたが、広さを考えると良かったかと思う。

## ブランチ・クラス

取り上げたダンス (2006年11月～1月)

### アドバンス・クラス

11/04 土	担 当	五十嵐 成子	
	ピアニスト	小海 弘子	
	1	Vine La Dance	J32-3C
	2	Mist on the Heather	S32-3C
	3	Her Mazesty is Wellcome	M s32, r32-4C
	4	The Pinewoods Two-Step	J32-2CRR
12/02 土	担 当	五十嵐 成子	
	ピアニスト	村上 美枝子	
	1	The Marchioness of Blandford' s Reel	J48-2C



- 2 Within A Mile of Edinburgh Toon S32-3C  
 3 Lucky Pieces of Eight H32-3Cs

- 01/06 土 担 当 工藤 祐享  
 ピアニスト 小海 弘子
- 1 Fife Ness R32-3C  
 2 Last of the Lairds J32-3Cs  
 3 Neidpath Castle S32-3Cs  
 4 Da Rain Dancin R32-3C  
 5 Whitee dden jig J32-3C

インターミディエイト月曜クラス

- 11/02 月 担 当 長峯 真弓  
 ピアニスト 市川 洋子
- 1 Kingussie Promenace J32  
 2 The Scots Bonnet J32  
 3 Autumn in Appin S32  
 4 The Lnimitable Derek R32
- 12 04 日 担 当 長峯 真弓  
 ピアニスト 市川 洋子
- 1 Welcome R32  
 2 Three the Garden J24  
 3 Scotland's Garden R32  
 4 Whiteadder Jig J32  
 5 Duchess of York S32

ステップダンスクラス および インターミディエイト土曜クラス

- 11 11 土 ステップダンス 担 当 川崎 千佳  
 Scotch Measure (4)  
 カントリーダンス 担 当 篠塚 昌子
- 1 The Clansman R32-2C  
 2 Winter Vacation J32-3C  
 3 Quaker's Daughter S32-3Cs
- 12/09 土 ステップダンス 担 当 川崎 千佳  
 Scotch Measure (4)  
 カントリーダンス 担 当 篠塚 昌子
- 1 Broadford Bay R32/3C

2 Maureen' s Reel	R32-3C
3 Oriel Strathspey	S32-4C

01/13 土	ステップダンス	担 当	小山 かおる	
	Scottish Lilt(4 Steps)			
	カントリーダンス	担 当	金田 治子	境 雅子
	1 The Machine without Horses			J32-3C
	2 Arthur' s Seat			R32-3C
	3 The Northern Meeting			S32-3C
	4 Barbara' s Strathspey			S32-3C

### ビギナーズクラス

11/13 月	担 当	佐藤 仁美	島山 あさ子	
	1	Leap Year		J24-2C
	2	Davy' s Locker		R24-2C
	3	Galloway House		R32-2C
11/27 月	1	Birks of Invermay		S32-3C
	2	Sandy O' er the Lea		S32-2C
	3	Lord Eglinton' Reel		R32-3C
12/11 月	1	Kendall' s Hornpipe		J32-2C
	2	Petronella		R32-2C
	3	Lady Lucy Ramsay		S32-3C
12/25 月	1	Highland Plaid		S32-2C
	2	Wild Geese		J32-3C
	3	Carl Cam' Ower the Croft		R32-3C
	4	Jinglebell Country Dance		R32-4C
01/08 月	1	I Come My Plaide		J32-2C
	2	Linton Ploughman		J32-2C
	3	Lady Dumfries		R32-3C
	4	Gay Gordoncs		March
01/22 月	1	I madge Wildfire' s Strathspey		S32-3C
	2	Fairly Shot O Her		J32-3C
	3	Mrs Macleod		R32-3C

### ボランティア募集

マガジンの和訳者募ります。セレクトアリーまでご連絡下さい。

## 新 CD・DVD 紹介 (トム鳥山)

### **We Twa (SPCD002) by Frank Thomson and the Wardlaw Scottish Dance Band**

Mideltone Silver (5x32J), The White Rose and the Yellow Waistcoat (8x32R), Miss Betty Ferguson of Dumfries (4x32S), Horsecwell' s Jig (8x32J), Heatherbrae (1x88R), We Twa Encore (8x32S), Renaissance (4x32J), Dumfries Rambler (4x32R), Ian and Joan McKenzie' s Strathspey (3x40S), The Sound of Cara (8x32J), The Annan Reel (3x32R), Corstorphine Road (4x32S), Iain' s Obsession (8x40J), Barton Barbecue (4x32R), Rossway (3x32S), Let' s Celebrate (4x40J), Slainte Mhor (1x64R)

twa はスコットランド語でカナ表記にするとトウォー、英語の two である。この CD はモイラ・ステイシーとスー・ブティット 2 人のダンス選集で、いくらトリッキーな踊りもあるが、ほとんどはいまあるフォーメーションを使って楽しい踊りに仕上げている。ダンス・フローの点からいえばジョン・ダウラーリにはかなわないが、RSCDS ダンスばかりを踊っていて、ときに冥味のようなダンスがほしいとき、この CD のダンスが役立つ。ダンス解説書は、CD に記載されたモイラ・ステイシーとスー・ブティットそれぞれのウェブサイトからすべて無料で入手可能である。これが面倒という人、ウェブサイト利用不可の人はコピー 有料 をご注文されたい。

主はトラディショナルないし現代作品であり、ケニー・トムソン楽団の演奏はフィドルレスのため深みに欠けるきらいがある。ただしこれはリスニングのみの感想であり、ダンシングにおいて音が深いとか軽いかを気にするダンサーはいないので、Horsecwell' s Jig など軽快に踊れる。〔注文略号：ウィー・トウォー CD〕

### **The Best of The Scottish Fiddle Orchestra / NTSC DVD (RDVD 060)**

Petronella, Whistling Rufus, Miss Fanny Poer, The Rant of the Litter, The Rosebud of Allanvale, Polkas, The SFO Folk Symphony, Sandy' s Reel, Battle Tunes of the Pipes, Circassian Circle, The Flower of Portencross, Irish Fantasia, The Dashing White Sergeant, Prince of Mists, The Eightsome Reel, Caddam Wood

SFO スコティッシュ・フィドル・オーケストラは、ジョン・メイソンを指揮者・リーダーとする弦楽器主力のセミプロ集団である。スコットランドではだれもが知っている有名オーケストラで、これはエジンバラ、アバディーン、グラスゴー、トロント、ロンドンなどの公演から抜粋した DVD である。ダンシングでなじみの曲が多用され、観客と一体になった演奏とジョン・メイソンの指揮ぶりが楽しい。曲はトラディショナルがほとんどであり、ガウ、マーシャル、スキナーの曲はなく、ストラスペイもないが、SCD の魅力はその音楽によるところが大きい、と感じさせる DVD である。という解説ではあっさりしすぎているが、買って損しない品物である。ダンシングの DVD ではないのでご注意を。〔注文略号：SFO DVD〕

**75th Anniversary of RSCDS London Branch (LBCD0601) by David Hall' s Scottish Country Dance Band and other Dance Bands and Musicians**

Argyll is My Name (8x32J), The First of September (4x32R), The White Rose of Scotland (8x32S), Nacton Hall (8x40R), The Dancing Master (1x96J SQ), Tom' s Friends (1x96S SQ), The Merry Uplanders (6x32J RTR), Golden Harvest (4x32S), All for Mary (8x32R), Bydand (8x32S), The Jubilee Line (8x48R), Miss McLean of Inverness (4x32S), London Reel (8x32R)

ロンドン・ブランチは 2005 年に 75 周年を迎え、それを記念して作られた CD およびブックである。過去に同ブランチの機関紙「The Reel」に載った各ダンスをこの際一冊にまとめ、音楽もつけて全ダンサーに楽しんでもらいたい、との考えである。もっとも古いのは 1954 年の White Rose of Scotland、最新のダンスは 2001 年の First of September で、ヒュー・フォス、ジョン・ドゥルーリ、ロイ・ゴールドリング、アン・ディックスなどが作ったダンスが集められている。ブックはすべて楽譜つき。

演奏はロンドン・ブランチに関係するミュージシャンが担当しており、ニール・エセルモン (パイパー)、デイブ・ホール、フランク・リード、グリーン・ジンジャー、カフーザルム、ジュディス・スミス、アンジェラ・ヤングらがそれぞれ 1 ないし 3 ダンスを演じている。ソロあり、デュオ、バンド演奏ありで、各ミュージシャンの異なる演奏スタイルが楽しめる。〔注文略号：ロンドン CD、ブック〕

以上の商品のご注文は……… 郵便振替 00240 - 0 - 63517 東京ブランチ

ウィー・トゥオー CD	¥3,500
ウィー・トゥオー 解説書	¥ 500
SFO DVD	¥3,900
ロンドン CD	¥3,500
ロンドン・ブック	¥1,800
ロンドン CD+ブック・セット	¥4,600

締切り 4月13日 (金)

お渡し予定 5月末 担当 荒井千文 T/F 049-247-5468